

広報うえだ

平成21年(2009年)
No.75
5月1日号

- 2 特集 私が移り住んだまち・うえだ
- 10 情報びっくあっぷ
- 12 情報あ・ら・かると
- 15 うえだ見聞録
- 17 歴史探訪
- 21 キラリ☆輝くこどもたち!
- 22 四ツ葉スケッチ
- 24 写真コンテスト
- 26 交流・文化施設
- 32 四喜折々



上田市行政チャンネル・広報うえだ同時企画

特集 私が移り住んだまち・うえだ

人口が16万人を超える上田市。

交流とにぎわいのまち創りが進む中で、

生活の場を県外から上田市に求めて、大勢の方が移り住んでいます。

昨年10月に開局した、上田市行政チャンネルと

広報うえだの同時企画として、外から見た上田について

県外出身の3人の方と母袋市長との

座談会が実現しました。

移り住んだきつかけ

市長 お忙しい中、行政チャンネルと広報うえだの同時企画へのご出演、感謝いたします。

今日は3人の方をお迎えし、外から見た上田について良きにつけ悪しきにつけ、いろいろな点が目に映っていると思いますので、改めて地域を見つめ直して、良き点は伸ばし、新しい価値もあるということに気づくことが大切だと感じ、この様な場を持たせていただきました。

率直な意見、体験談などをお話いただければありがたいと思います。

最初に、自己紹介を含めまして、上田市に住まうことになった動機や理由をお話いただければと思います。

宮永 出身は北海道の函館市ですが、東京や神奈川を仕事場にゼネコンで設計をしていて、札幌などへ転勤もしました。50歳近くになつてから転々とするのもどうかと思いついて、あこがれの長野県へやって来たというわけです。

私は非常に暑さに弱いもので、長野県へ来れば涼しいと思っていましたが、現状は結構暑いところでした(笑)。昭和50年代に長門町に山小屋を求めたことがきっかけとなって、周辺を探していたところ丸子にたどりついたところでした。

市長 竹芸でご活躍ということで、これから話が出てくると思いますが、自然とふれあう場としてこの上田を選ばれたということが大変ありがたく光栄に思います。

続いて藤川さん、お願いします。

藤川 3年半ほど前に、大阪から引越してきました。出身は広島県です。

仕事の関係で上田へ来ました。東京の渋谷か上田か、どちらかを選べる状況でしたけれど、渋谷に住む自信がなかったのです。上田のことは何も知りませんでした。縁があるのだと思ってやって来ました。

市長 なるほど。

藤川 上田で何かしようとか具体的なことはなくやって来ましたが、住んでみたらとても私には肌が合うというか、水が合っているようなイメージで楽しんで生活しています。

市長 そうですか。

藤川 わりと早くなじみましたね、まさに。最初の半年くらいで、友だちもたくさんでき

ました。

息子がいるのでお母さんたちと仲良くなり、ずっとここに住んでいる人みたいと早くから言われて、楽しんでいううちにやりたいことができて、上田ですと暮らしていきたいと思うようになって今日に至っています。

市長 適応力があって、すぐに仲間もできて、水が合うという大変うれしいお話です。

続いて、柳本さんお願いします。

柳本 私は東京の出身で大学を出てから2年間、会社員をしていました。もともと食に興味がありましたが、その根本的な農業について知りたくなくて昨年、佐久で農業研修を1年間やってきました。

その中で今、私が活動している団体と出会う機会があつて、生産者と消費者をつなぐような仕事为上田にあると言われ、今年1月に引越してきました。

市長 寒い時に来られたわけですけど、どうですか、何か月かが過ぎて。

柳本 去年は、山のようなどころに住んでいましたけれど(笑)、上田は街としても発展している部分があつて、かつ、手の届くところに農業があります。

商業と農業が一体になつているところなので、すごく面白いところだと思います。■

上田市を改めて見つめ直し、新しい価値に気づくことが大切と感じ、座談会を企画。

特集

私が移り住んだまち・うえだ



丸子で竹と出会って

宮永征志さん（北海道出身）
みやなが・まさし

14年前に丸子に転入。

一級建築士として、大手建設会社に勤務。会社は全国にあり、関東以北へ何度となく転勤。東京オリンピックや日本の高度経済成長期など、建築の盛んな時期を経験しました。宮永さんは現在の家が、一方には大きな川があり、もう一方には山がある別荘地に近い霧開気のところだといいます。

「竹工芸」も、こちらへ移り住んでから還暦の5年前に、偶然に竹やぶで根を見つけたのが始めるきっかけだったそうです。

信州には、こんなに竹があるとは思わな

かったと話す宮永さんですが、工芸には竹の枝も、幹の部分も、葉も、根も使え、作品の種類が広がる場所に面白さがあるのだといえます。

宮永さんは、丸子北小学校の体験学習で年に1度、竹を使った弓矢づくりを指導しています。子どもたちには大人気で、多い時には100人もの希望があったそうです。

また、この春休み期間中には地元の小学生4人に竹の地下茎を使ったトカゲづくりを教えました。

番組の収録では、多くの工芸作品が並ぶ宮永さんのお宅の工房で、市長も竹とんぼづくりに挑戦（写真）。竹をカッターで削る作業では、竹の硬さに驚きを見せていました。

映画に心響いて

藤川まゆみさん（広島県出身）
ふじかわ・まゆみ

大阪府八尾市から平成17年に転入。

2007年に、使用済み核燃料再処理工場を取り巻く人々の暮らしに重点を置いた、長編ドキュメンタリー映画「六ヶ所村ラブソデイー（鎌仲ひとみ監督）」を長野大学で上映。藤川さんは自ら実行委員会を組織して運営に携わり、上映会を成功させました。

この3月28日には、同作品に続く鎌仲監督のドキュメンタリー映画「ミツバチの羽音と地球の回転」の製作過程の上映会を川西公民館で開催。

番組の収録では、市長がその上映会を訪れ、

中間報告として作られたビデオレターを鑑賞しました。

開会前に市長は、藤川さんから鎌仲監督を紹介され、映画の概要などについて説明を受けました（写真）。

前作の六ヶ所村ラブソデイーは問題提起で、この作品は持続可能な未来が見えてくる内容になっているといえます。

「ミツバチ」は、蜜をもらってもお返しに受粉をする、取るばかりの人と違う循環の存在であるという意味から、タイトルに使われているものです。

上映会には藤川さん一人ではなく、何人かのスタッフが携わっていますが、参加者との境目が少ない会だそうです。



4・5ページで紹介しているプロフィールは番組の中で、市長がお三方の活動の場を訪ね、日ごろの様子を紹介するために収録したものから、一部を抜粋して掲載しています。収録は座談会の後に行われ、番組も座談会から活動の場へ、そして、座談会へと展開しました。



農業に目を向けて

柳本あさみさん（東京都出身）
やなぎもと・あさみ

今年1月に転入。昨年1年間は、佐久市で農業研修。長野大学環境ツーリズム学部の上田陸美准教授との出会いを縁に、上田へ。
現在は、NPO法人「食と農のまちづくりネットワーク」に専従し、生産者と消費者をつなぐ活動に取り組んでいます。
転入してから間もない柳本さんですが、上田の山口地区で400年の歴史を数える地大根、信州の伝統野菜の認定を受けている山口大根の普及にかかわり、長野大学の学生が開発したドレッシングを、同NPOで商品化しました。

山口大根の復活普及に取り組む、「山口大根の会」の総会が3月29日に山口自治会館で開催され、その席でドレッシングの発表と試食会が行われました。

ドレッシングは考案された6種類のうち、ノンオイルの辛味のあるものとなないものの2種類が商品化され、販売されました。しょうゆベースに県内産のりんご酢が入った、さっぱりした味わい特徴です。

番組の収録では市長と、原町商店街で山口大根の漬け物のもてなしを受けるシーン（写真）と、ドレッシングの試食をするシーンを撮影しました。



上田市長 母袋創一

上田市行政チャンネル

昨年10月1日に、ケーブルテレビのデジタルチャンネルで開局しました。朝5時～深夜0時まで、市政に関する番組などを放送しています。

●チャンネル

上田ケーブルビジョン(UCV) CATV009
丸子テレビ放送(MTV) CA103

●放送番組

市政企画番組、テレビ版広報うえだ、うえだ注目情報、行政情報番組、四季折々～上田の原風景から～、記者会見、上田市からのお知らせ、ウィークエンドリサイクル、休日緊急医、健康診査日程、今月の納税ほか。なお、市政企画番組とテレビ版広報うえだ、うえだ注目情報は、UCVとMTVのアナログチャンネルでも日曜日に6回(MTVは日・月曜日に各3回)放送しています。また、行政情報番組は金曜日に6回、同チャンネルで放送しています。このほか、上田市ホームページからも多くの動画番組がご覧いただけます。

市民レポーターを募集

行政チャンネルの番組で、市政やまちづくりの取り組みなどをレポートしてくれる「市民レポーター」を募集します。詳しくは、お問い合わせください。

問 市秘書課 TEL23・5149



特集

私に移り住んだまち・うえだ

地域の中に入り込んで

市長 皆さんのお話から、もう、いろいろな違いが発見できましたね。私もサラリーマン時代は全国へ行っていましたが、外から上田を見ることで、良いところも悪いところも浮き彫りにされると思っています。

次に、皆さんは現在、思いを実現しようとして活動されていることがそれぞれあると思いますので、柳本さんからお話いただけますか。

柳本 私は今、食と農のまちづくりネットワークで活動していますが、みそづくりやしょうゆづくりといった伝統的なものにすごく興味があります。今までは買うしかなかったものを、地域の方の中に入り込んで一緒につくっていくことができます。

伝統野菜の山口大根を使って、新しい商品をつくってみたりしていますし、これからもしていこうと思っています。

市長 農業は一つの生業^{なりわい}ですが、私は生産の舞台だけではなく流通・加工・販売まで、消費者につながる視点で農業を見ると非常に面



山口大根のドレッシングを試食する
シーンを収録する柳本さんと市長

白い点があると思います。それは若い人たちにも、うける面が多分にあるのではないかと
思っています。柳本さんは、何がきっかけで
農業に目が行ったのですか。

柳本 東京で働いていた時は夜遅くなっても
スーパーは24時間やっていて、野菜は売って
いますが、それを食べても健康になりそうな
気がしませんでした(笑)。外国産のものもた
くさん入って来る中で、健康にいい野菜をつ
くり続けていかなければいけないのに、若い人
たちはあまり興味がなかったりします。

私がかかわったら、周りが何か変わるかと
思いました。流通とか、加工とかを考えてい
くにも一番初めに生産の部分の大変さも知
らないと、うまく回らないと感じました。

市長 そういう視点を多くの日本人が持
てれば、自給率の向上や循環型社会が
進んで行くのだと思います。

この不景気の中で農林業に目が向け
られてきたというニュースが流れている
わけで、これが一過性ではなくて永続的
に向けられてほしいと思っています。それ



上映会の開会であいさつする藤川さん

には、収入のある場でないといけない。この
地は気候的にも非常に恵まれているので、可
能性も魅力も多分にあると思います。一番、
力を入れてやってみたいと思うことは何で
しょうか。

柳本 地域の人たちにとっては当たり前で、
わざわざ教える必要がないと思っていると、
伝承しないで消えて行ってしまう気がしま
す。当たり前のものを当たり前に、残してい
く活動をしたいですね。

市長 意外ととっぴり漬かってしまっている



NPO法人食と農のまちづくりネットワーク
が商品化した「山口大根ドレッシング」。
4月11日に行われた海野町フードサミット
や原町商店街で販売されました。

地域の人たちには当たり前で、
教える必要がないと思っていると
消えていってしまう気がする。



工芸の材料を調達する竹林で
市長と話す宮永さん

上田は、たくさんの人と顔を
合わせることができる、ちょうど
いい規模のまちだと思う。



と、良さがわからないですね。自分自身も感じるが多々あります。まずいなと思うのですが、なかなか行動に移れない面もあります。ぜひ、新しい視点で食品に大いにかかわっていただければと思います。■

つながりが広がって

市長 次に藤川さん。お聞きしますと映画をみんなで見ようと、ここ数年がんばっているということですが。

藤川 2007年の年末に映画会を行いました。それは自主製作の映画ですが、上映会が

全国500か所くらいで行われた、六ヶ所村ラプソディーという映画です。エネルギー問題についてのドキュメンタリーで、監督がメッセージを込めてつくっていますけど、実際に答えを渡す映画ではなくて、暮らし方とか自分の生き方について迫って来るようなものでした。

初めて見た時は、私に問いかけられたような気がして、私の周りの人にも見てもらいたいと思って、映画会をしました。その映画会をきっかけに、すごい勢いで私の周りの人と人とのつながりが広がって、面白いくらいの発見がありました。上田には本当にいろいろな方がいて、活躍していることを実感しました。

その時立ち上げた実行委員会は今でも続いていて、小さな上映会や座談会、ワークショップを企画しています。

市長 個性豊かな人材がいるということですね。

藤川 上田は、ちょうどいい規模のまちじゃないかと思っています。大都市というわけではなく、かといってすごく田舎でもなくて、たくさんの人と顔を合わせることができるまちだと思っています。やりたい人が集まって運営しているいろいろな会ができていて、そこに私も仲間入りさせてもらったり、私の会に来てもらう方、同じ高さでつき合えるようなネットワークができてつつあるな、と感じているところです。



市長 すばらしいことですね。要するに、目的に向けて心を一つにということより、意見と

いうのはいろいろあって、それは認め合いながら会を運営するということですね。

藤川 そうですね。

市長 非常にある意味では難しいことのような感じはしますが、苦労はありませんか。

藤川 ないですね。だれかが意見を統一するのではなく、それぞれの人が自分で考える社会ができていけば、きつと人それぞれが力を発揮することができ、地域にエネルギーがわいて来るような気がします。

市長 六ヶ所村ラプソディーは原子力発電のことを取り上げたものですから、長野県には無縁ですね。参加者の皆さんは、気づきを学んだということだと思いますが。

藤川 気づきの中の一つに、自分も当事者だと感じられた方々がたくさんいました。電気を使っていますから、この暮らしを支えているのは何なのかとか。

竹工芸のトンボ。宮永さんの多数の作品の中でも秀逸作品(上)。
川西公民館で中間報告の上映会が開かれた、鎌仲監督の長編ドキュメンタリー映画のチラシ(下)。

特集

私に移り住んだまち・うえだ



市長 大きなテーマですが、また、新しい映画を見る活動をされているそうですね。

藤川 六ヶ所村ラプソディーと同じ、鎌仲監督の次の作品がもうすぐできます。それは問題提起だけに終わらず、これから先、持続可能な社会はどうやったらつくれるのか、そのヒントがちりばめられた映画です。

市長 いつごろですか。

藤川 製作途中で、経過報告のDVDが作られていて、3月15日に東大でお披露目の会がありました。できあがるのは1年後くらいになると思います。

市長 仲間で皆さんに見ていただく、活動をしていくということですね。

藤川 はい。ぜひ、やりたいと思います。

市長 楽しみにしています。■

自然の素材を使って

市長 宮永さん、お待たせしました。自然と昆虫、竹工芸についてお話いただけますか。

宮永 5年前から取り組んでいます。竹やぶで根を見たのがきっかけですね。竹の地下茎は節が細かくて、トンボのしっぽに似てい



ます。

ものをつくっていくイメージがわいてきて、次から次へといろいろなものができてきました。小さいものから大きいものまで100点以上はあると思います。それができたのは、周辺にたくさん竹があったからです。北海道には、道南の一部にしか竹がありません。

竹工芸は四季を通していつでもできますし、自分の趣味として終わらせなくて、少しずつ広めていこうかと考えています。春休みには小学生に、自宅の工房で勉強してもらいました。

市長 そうですね。

宮永 竹はカッターで削りますが、学校では持たせないようになっていて、やむを得ない面もありますが、さびしいような気がします。私のところでは率先して持たせて、勉強してもらうことを趣旨にしています。

今後、上田市に限らず竹工芸が広がってくれたらいいと、勝手な思いはありますが個人でやっている関係上、援護していただければありがたいと思っています。

市長 自然の素材を使って、加工することは



楽しいでしょうね。作品展もいろいろな場所であると思いますので、期待しています。■

まちに感じていること

市長 次に、上田のまちに率直に感じていることをお話いただけないかと思っています。新上田市は合併して3年、北は菅平から南は美ヶ原までと広くなりました。今後のまちづくりをどうして行くかは、例えば産業を見ても観光というものがあり、観光をベースにして農業、工業、商業の連携が図れる可能性を持つてきました。

資源もあまた存在しています。これをどう活用していくのか、大変重要な局面にあると私は思いますが、これからのまちづくりの中で、こうあってほしい、ここを直してほしいといったお考え・思いがありましたらコメントいただきたいと思っています。

柳本 商工・観光がみんな近くにあって、外から見ればそれが素晴らしいものだというところを実感しています。今あるものをいかにうまく、活用していくかが課題かと思っています。
市長 なるほど。藤川さんはいかがでしょう。

新たな展望を開くには、市民との協働、コミュニティを大切に一つのステージに参加する必要がある。

特集

私が移り住んだまち・うえだ

藤川 上田市はきつ

と、人材を自給できるところだと思っています。力を発揮する場もあるし、発揮したいと思う方もたくさんいるように感じます。

やりたいけれど、できていないという方々

を支えてあげられるようなシステムがあると、眠っているエネルギーがもっと発揮されると思います。

市長 大変、貴重なお話だと思います。市政においても住民の皆さんは参加したい、何でも手伝いたいけどどうしたらいいのだろう、こう思っている方が意外といらっしゃると受け止めています。

そういうステージを提供してあげる、ちょっと背中を押してあげる、そのことによっていろいろな活動に結びついていき、コミュニティに結びついていくのだという思いがあります。藤川さん、そういう面で力を入れてみたいと思っていることは？

藤川 3月28日には、映画の途中経過報告の上映会を開きましたが、ただ上映するだけではなくて、地域の方が話をする時間もとるようにはしました。そういった場所で開催して、つながって、それぞれの活動を始めるように、または一緒にやっていくような場があちこちにあればいいと思います。

市長 宮永さん、まちづくりの話では多くの都市での生活を経験されているだけに、いろいろな都市との比較ができると思いますが、その辺もにらんでいかがでしょうか。

宮永 これからの上田市はどうあるべきか、



ということにはなかなか大それたことは言えませんが、合併して3年になった上田市を地形的に見ると、市の中心が地図上も中心に位置するように、合併したことによってなりました。もともと輪を広げられるものが、できてくるのではないかという気がします。

市長 今日は皆さんから貴重なお話をいただいて、ありがとうございました。

新たなまちづくりというのは、新市の大きな課題であることを先ほども申し上げました。新たな展望を開くには、やはり市民との協働、コミュニティを大切にしながら大勢の人たちが一つのステージに参加して、つくりあげていかなければだめなのだろうと思います。その中で、地域ごとの良さや多様性を認め合いながら、みんなで取り組んでいきたいと思います。そして、いろいろな産業がある中で、まず第一次産業の農業は大事で、この価値観を認識して他の産業との連携を図っていく、それが未来の形をつくるのではないかと私なりに理解しました。

私も今日は、多くのことを感じました。それぞれのお立場でがんばっていたいて、また成果を紹介していただければありがたいと思います。ありがとうございました。■



春休みを利用して、地元の小学生に竹工芸を指導する宮永さん(写真左上)。上映会の後に行われた、鎌仲監督を囲んでのワークショップ(写真左下)。山口大根のドレッシングが発表・試食された山口大根の会の総会(写真下)。



夏休みの思い出を国際交流で アメリカへホームステイ

中学生の皆さん、夏休みを利用して、上田市の友好都市であるアメリカのブルームフィールド市郡にホームステイをしてみませんか？

今年度からは上田市全域の中学生が募集できるようになりました。ふるってご参加ください。

なお、詳しくは各中学校に募集要項を配布しますので、そちらをご覧ください。

期 間 7月31日(金)～8月11日(火)の12日間

場 所 アメリカ合衆国コロラド州ブルームフィールド市郡

対 象 市内在住の中学生

定 員 15名(応募者多数の場合、選考のうえ決定)

参加費 自己負担額20万円程度

申し込み 5月7日(木)～22日(金)までの間に、丸子地域教育事務所社会教育課へ申請書を持参、または郵送(必着)。

問 丸社会教育課 TEL42・3147



ホストファミリーと実行委員を募集 ワールドキャンパスインターナショナル



ワールドキャンパスインターナショナルは、世界中から集まった若者約30人が約2か月間、日本各都市をホームステイしながら、日本の文化を学び各地の特性を生かした活動を地域住民と協働で行います。今年も7月3日(金)～13日(月)まで上田市での滞在を予定しています。

そこで、この若者たちを受け入れてくれるホストファミリーを募集します。また、企画運営に携わる実行委員も募集します。皆さんのご協力をお願いします。

応募方法 電話またはFAXで。ホストファミリーへの応募は申し込み用紙をお送りします。また、ホストファミリーは、定員になり次第締め切ります。

問 丸社会教育課 TEL42・3147 FAX42・3148

5月1日から市民割引回数券を販売 平井寺トンネル有料道路

地域間の交流を促進し、新上田市の一体感の醸成を図ることを目的に、「新生上田市発足3周年記念事業」として主要地方道・上田丸子線の平井寺トンネル有料道路の「市民割引回数券」を販売します。現在、通勤・通学・通院などで、多くの市民の皆さんが利用している平井寺トンネルが更に利用しやすくなります。

- 対 象** 申請日において上田市民である方ならどなたでも（法人は対象外）。
- 設定車種** 設定は「普通車」のみ（小型自動車、普通乗用自動車、普通貨物自動車など。軽自動車含む）
- 販売開始** 5月1日（金）
- 販売時間** 午前8時30分～午後5時15分。なお閉庁日の販売は行いません。
- 販売窓口** 市役所市民課、塩田・川西・豊殿地域自治センター、丸子・真田・武石地域自治センター市民生活課（平井寺トンネル有料道路料金所では市民割引回数券の販売は一切行いません）。
- 回数券料金** 1枚あたり140円（通常の通行料金は1回200円）。
- 販売枚数** 10枚単位で販売（1回の購入は100枚まで）。
- 購入方法** 販売窓口にある所定の購入申請書（上田市ホームページからダウンロード可）に必要事項を記入・押印し、購入してください。申請時に、必ず本人であることが確認できる書類をご提示ください。なお、代理の方が窓口へお越しになるときは委任状などが必要で、代理人のご本人の確認書類の提示も必要になります。また、申し込み時には印鑑を持参してください。
※本人を確認できるもの 1点でよいもの（免許証、パスポート、住民基本台帳カードなどの官公庁の発行した写真付きの証明書）、2点必要となるもの（健康保険証、年金手帳、年金証書、介護保険証、社員証、学生証など）
- 注意事項** ①払い戻しは行いません。②不正購入が発見された場合は、次回以降の申請を受理しないことがあります。



問 市地域交通政策課 TEL23・5011

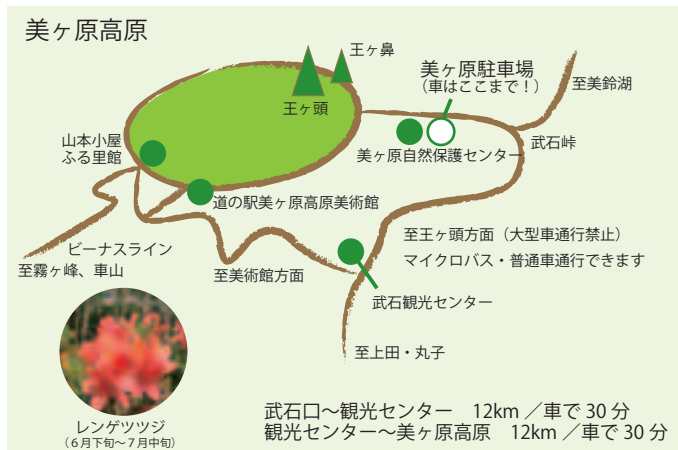
ちょっと足をのばしてみませんか 美ヶ原高原に出かけよう！

さわやかな高原の季節がやってきました。

美ヶ原高原では4月25日に開山祭を終え、ようやく長い冬の眠りから覚め、さわやかな季節を迎えました。「日本一高く、広く、美しい高原」として知られる美ヶ原高原は、日本百名山にも数えられ、晴れた日には、北アルプスをはじめ富士山も見ることができます。

360°の眺望と約200種類の高山植物が咲き誇る、その名のとおり日本一美しい高原にぜひ一度お出かけください。

問 市産業観光課 TEL85・2311



お知らせ

第4期上田市高齢者福祉 総合計画住民説明会

上田市では、「第4期上田市高齢者福祉総合計画（平成21～23年度）」の内容と今後の施策をお伝えするため住民説明会を開催します。最寄りの会場にご参加ください。

- 期日／場所 5月12日（火）／上田創造館、同月13日（水）／川西公民館、同月14日（木）／西部公民館、同月15日（金）／上野が丘公民館、同月18日（月）／長瀬市民センター、同月19日（火）／丸子ふれあいステーション、同月20日（水）／真田地域自治センター、同月21日（木）／塩田公民館
- 時間 午後2時～4時

●市高齢者介護課

●健康福祉課 TEL 23・6246
TEL 42・0092
●健康福祉課 TEL 72・4700

平成21年度 市長と市民の懇談会

上田市では、市長が市民の皆さんと話し合う「市長と市民の懇談会」を開催しています。

- 日時 5月21日（木）午後4時30分～6時
- 場所 駅前ビル・パレオ2階会議室
- テーマ 上田のブランドづくり

※6月以降の開催日程などは、順次お知らせします。

●秘書課 TEL 22・3435

行政相談委員の 皆さんです

行政に対する苦情や意見・要望などを聞いて、その解決や実現を図るための窓口となってくれる方が行政相談委員です。次の皆さんが総務大臣から委嘱されていますのでお気軽にご相談ください（敬称略）。

●氏名（自治会／電話番号）

- 関清子（城北／23・1466）
- 宮沢由昇（下之条／27・6779）
- 竹沢朝代（柳沢／38・5807）
- 堀内泰（川辺町／27・9469）
- 澤山千恵子（下和子／42・2685）

●松尾吉隆（真田／72・2603）
●小宮山昌武（藪合／85・2627）

◇行政相談

相談は無料で秘密は守られます。また、自宅でも相談に応じています（広報うえだ16日号の相談コーナーに掲載中）。

●日時 毎月第2火曜日、午前10時～午後3時

●場所 市役所南庁舎6階

◇一日合同行政相談所

●日時 5月26日（火）午前10時～午後3時

●場所 イトーヨーカドー上田店
●市生活環境課 TEL 22・4140

平成21年度交通災害 共済会員募集中

交通災害の程度に応じて、1万5000円から100万円の見舞金を支払われます。自治会を通して、または郵送で申込書をお届けしています。詳しくは申込書裏面をご覧ください。

●会員期間 6月1日～平成22年5月31日（中途加入の場合は会費納入の翌日から）

●会費 一人500円

●加入方法 5月中旬ごろまで自治会を取りまとめているほか、生活環境課、または各地域自治センターで受け付けています。

●市生活環境課 TEL 22・4140

日赤社資にご協力を！

日本赤十字社では、災害発生時の

今月の表紙



咲きそろった桜を満喫

4月11日、「ソメイヨシノ満開」の知らせに、上田城跡公園には県内外からたくさんの人が訪れました。

東虎口櫓門前は、北櫓の隣りに咲き誇る少し濃いピンク色のシダレザクラが絶好の写真スポット。昨年登場したシャッターマンはすっかり人気者に。「去年もあなたに撮ってもらったから」とリピーターもつくほどでした。

初夏を思わせる陽気で一気に咲きそろった桜と、千本桜まつりの盛りだくさんのイベントを市民や観光客は満喫しました。

犬猫の不妊手術に 補助をします

飼犬及び飼猫の不妊手術費用の一部を助成します。

●実施期間 6月1日（月）～30日（火）
●実施動物病院 上小地域にある動物病院

救援・救護活動や医療救護班の派遣、救急法などの講習会、奉仕団活動の育成など、地域を支える活動をしています。5月の赤十字運動月間に、自治会の役員や、赤十字奉仕団員が皆さんのお宅に伺いますので、活動資金となる社費（会費）の納入や寄付金のご協力をお願いします。

なお、日赤では、AED（自動体外式除細動器）を用いた講習会を随時行っています。希望される方はご相談ください。

●日本赤十字社長野県支部上田市地区 TEL 23・5130

お知らせ

別所温泉大湯地区ふれあいロード 「手づくり郷土(ふるさと)賞」 受賞にうれしさもひとしお

小川にホテルを
呼び戻したい、ご
みの不法投棄をな
くしたい、花で道
沿いを美しくした
い…と、みんなの



手で地域を形作ってきた大湯地区ふれあいロード。
こうした活動が評価され、大湯地区の皆さんが国土
交通大臣表彰「平成20年度手づくり郷土(ふるさと)
賞」を受賞。3月20日に、地元の別所温泉大湯公園
で認定証が授与されました。

手づくり郷土賞は、地域の自然や歴史、文化など
を生かした魅力的な社会資本や、それを形作った地
域活動を国が表彰するもので、大湯地区の活動は、
16年の長い時間をかけて少しずつ工夫しながら、地
域資源の魅力を引き出してきたことが評価されたも
のです。

最近では、野倉へ抜ける古い道筋を遊歩道として
復活させたり、大湯公園へあずまやを設けるなどの
活動を行っています。また、不要になった500個も
の石垣の材料を譲り受けて一つひとついねいに手
作業で並べ、ポケットパークなどを作っています。

大湯地区の皆さんは、「これからの活動の励みにな
る」と喜びをかみしめていました。



普段入ることができない、牧場内
をインストラクターの解説を交えな

美ヶ原自然保護センター 第1回自然観察会

催し

- 対象 上小地域の住民が飼育する
猫及び登録・狂犬病予防注射が実
施されている犬
- 助成金額 1頭/メス5000円、
オス3000円(予算の範囲内で実
施)
- 申し込み 実施動物病院へ直接お
申し込みください。
- 問い合わせ 長野県動物愛護会上小支部
TEL 25・7153

上田市では「染屋台グリーンベル
ト」の保全と整備に取り組んでいま

染屋台グリーンベルト 里やま体験ウォーキング

- から観察します。
- 日時 5月23日(土)午前9時30分～
- コース 美ヶ原自然保護センター
(集合)焼山牧場内
- 定員 先着25名
- 参加費 200円(保険料など)
- 申し込み 5月16日(土)までに電
話、またはFAX(0263・
31・2290)で自然保護センター
へ。
- 問い合わせ 美ヶ原自然保護センター
TEL 0263・31・2807

- す。今回は初夏の青葉茂る散策道を
歩き、植物や環境、歴史などを学
びます。あわせて1年間の「里やま
体験ボランティア講座」のオリエン
テーションも行う予定です。
- 日時 5月24日(日)午前9時～午後
1時(予定)(受付は午前8時40分
～・小雨決行)
- 集合場所 中央公民館正面玄関前
- コース 中央公民館～英神社～染
屋の森～北沢の森～上田東公園～
常田池～中央公民館(約5km)
- 定員 50名
- 持ち物 飲み物、昼食・雨具ほか
- 参加費 大人300円、子ども
200円(保険料として)
- 申し込み 5月20日(水)までに電話
で公園緑地課へ。

上田・城下町 真田十勇士高札めぐり

- 日時 5月30日(土)午後1時15分～
タート(0時45分集合)
- 集合場所 上田城東虎口櫓門前
- 参加費 200円(保険代・当日
徴収)
- 持ち物 雨具、筆記用具
- 申し込み 5月22日(金)までに所定
の申込書に記入のうえ、上田城下
町活性会事務局へ(小学生以下の
方は保護者同伴。グループ参加歓
迎)。
- 問い合わせ 上田・城下町活性事務局(上田
商工会議所内)
TEL 22・4500



昨年、染屋の豊染英神社から黒坪の国露津穂神
社までの約4kmのうち、既存の道路と結びつけ
る約2.1kmの散策道ルートを整備しました。

公園緑地課 TEL 23・5134

お知らせ

新しい委員さんです

3月市議会において任期満了となった各委員職について、次の皆さんが再任されました(敬称略)。

●公平委員

沓掛由利子

(平成21年4月28日～25年4月27日／任期4年)

●固定資産評価審査委員

半田榮範

(平成21年4月29日～24年4月28日／任期3年)

また、森大和教育長の任期満了により、新しい委員が選任されました。その後、4月29日に開かれた教育委員会で教育長に任命されました。

●教育長

小山壽一

(平成21年4月29日～

25年4月28日／任期4年)

前長野高等学校長。

上田市上田。



上田市陸上カーニバル
2009参加者募集

- 期日 6月14日(日)
- 場所 菅平高原スポーツランド陸上競技場(サニアパーク菅平)
- 対象 市内小・中学生、高校生・大学生を除く市内在住の勤の方
- 種目 ①小学1～3年生／50m・1000m、②小学4～6年生／100m・1000m・走幅跳・ソフトボール投げ、③小学2～6年生／4×100mリレー(2～4年生のみ男女混合可)、④中学生／100m・1500m・走幅跳・砲丸投・4×100mリレー、⑤一般／100m・1500m・走幅跳・砲丸投

丸子金子図書館
おはなし会

エプロンママさんによる、大型絵本・絵本の読み聞かせなどお楽しみください。

- 日時 5月16日(土)午前10時30分～
- 場所 丸子金子図書館2階
- 丸子金子図書館 TEL 42・2414

- 参加費 500円(保険料込)当日徴収
- 申込方法 5月22日(金)までに所定の申込書により、体育課または丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所へ。
- 丸子金子図書館 TEL 23・6372

第4回上田市民ゴルフ大会
クローバーカップ

期 日	場 所	プレー代	定員(先着)
7月4日(土)	上田丸子グランヴィリオゴルフ倶楽部	メンバー 6,100円 ビジター 9,810円	180名
7月5日(日)			220名
7月6日(月)	上田菅平高原グランヴィリオゴルフ倶楽部	メンバー 6,100円 ビジター 7,300円	180名

- 対象 市内在住の勤の方
- 参加費 一人2,000円(別途プレー代／すべて食事、乗用カート付、セルフプレーの料金です)

- 部門 ①一般の部、②シニアの部
- ③グラントシニア・レディースの部
- 申込期間 5月11日(月)～6月19日(金)
- 申し込み 申込書に必要事項を記入し、参加費を添えて体育課、または丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所まで。できるだけ4人一組でお申し込みください。なお、定員になり次第締め切りします。
- 丸子金子図書館 TEL 23・6372

<広告欄>



あおやぎ眼科

眼科各種手術 ●入院設備あります ●駐車場30台
(白内障・緑内障・網膜剥離術・硝子体切除術・眼瞼内反症・眼瞼下垂症 等)

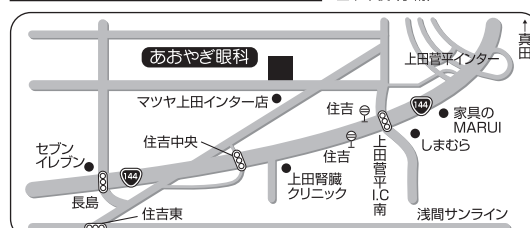
〒386-0002 上田市住吉577
(マツヤ上田インター店前)

TEL.0268(28)6688

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00～12:00	×	○	○	○	○	○
午後2:30～5:00	○	手術	○	手術	手術	×

休診日

日曜・祝日・月曜午前・土曜午後
火曜午後(手術)・木曜午後(手術)
金曜午後(手術)





本原小学校の近くに、真田昌幸・幸村親子が住んだとされる屋敷跡があります。地元で「御屋敷」と呼ばれている長野県史跡・真田氏館跡です。屋敷跡は土塁と堀で囲まれ、敵が簡単に攻め込むことができないようになっていました。敷地の大きさは東西160m、南北130m、土塁の高さは4〜5mあります。砥石城をはじめ、周辺の山城を見渡すことができる絶好の場所に造られています。

この屋敷は昌幸の兄・信綱のもので、

兄の死後、真田家を継いだ昌幸が幸村らと共に甲府から移り住んだものと考えられています。当時昌幸は武田勝頼（信玄の子）の重臣として活躍していました。帰郷から上田城を築くまでの間、昌幸は本原一帯を本拠地として勢力を大きくしていきました。

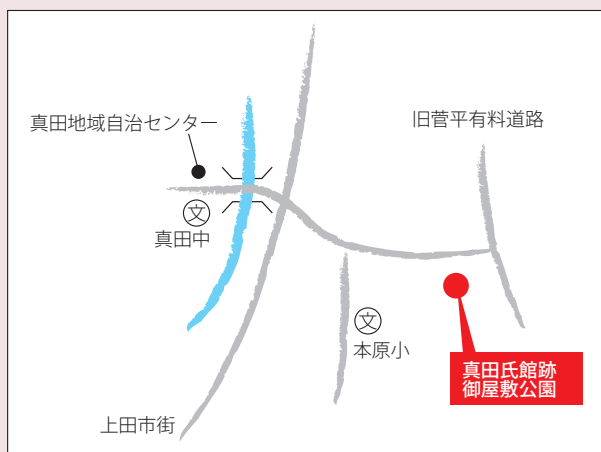
屋敷跡には現在、皇太神宮が祭られています。昌幸が上田城に移る際に屋敷跡が荒れるのを心配して造ったものとされています。神社付近はおそらく母屋などの住まいがあった思い入れのある場所だったのでしょう。境内では3年に1度、三つ頭獅子が舞うなど、真田一族が残してくれた貴重な遺産を今でも見ることが出来ます。

御屋敷はツツジが見事な公園でも知られています。毎年5月下旬には、約600本の

うえだ見聞録

真田氏館跡（御屋敷公園）

ツツジが見頃を迎えますので、ぜひお楽しみください。



問 市文化振興課 TEL 23・6361

講座・教室

平成21年度音楽村 ハーモニースクール

すべて初心者向けの講座です。

●期間 6月〜平成22年4月（10〜20回を予定）

●募集講座 ハーモニカ、ヴァイオリン、オカリナ、二胡、カラオケ、津軽三味線、シャンソン、ウクレレ、草木染め、木工、ボードウィービング、プリーザーブドフラワー、ヨガ（応募人数などにより開講を決定）。

●受講料 講座により異なります。

●申し込み 5月31日(日)までに音楽村へ直接、または電話、FAX

（42・3948）、郵送（〒386-10411生田2937-1）で。詳しくは、音楽村ホームページ、市内各所に配置のパンフレットでご確認ください。

問 財信州国際音楽村

TEL 42・3436

<広告欄>



県産材で造る
パッシブソーラーハウス

陽楽 うららの家

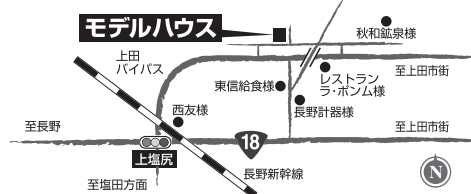
普段着を着るかのように、心地よく家族を包んでくれる…そんな等身大の家です。

開館日 土曜日・日曜日 am10:00〜pm5:00

平日にお越しの方は、

0268-27-6667 までご連絡ください。

木曽ひのき / 遠山杉(南信濃産) / 信州唐松・赤松



美し信州建設株式会社
ホームページをご覧ください。
http://www.sinshuu.co.jp

ファミリー・サポート・センター講習会

上田市ファミリー・サポート・センターでは、子育てに役立つ講習会を開催するとともに、会員の募集を行います。

開催日	講習時間	内 容
5月14日(木)	13:00～14:00	ファミリー・サポート・センターの説明
	14:10～15:30	子どもの身体の発達と病気
5月15日(金)	13:00～14:30	子どもの遊び
5月19日(火)	13:00～14:00	子どもの食事・健康管理
	14:10～15:30	子どもの事故と安全対策
5月20日(水)	13:00～14:30	子どもの心の成長とその背景
	14:40～15:30	保育の心・子どもの世話 サブ・リーダーとの交流

- 場所 ふれあい福祉センター2階 大会議室
- 受付時間 午後0時30分～50分
- 参加費 無料(託児あり・要予約)
- 申し込み 電話で上田市ファミリー・サポート・センター本部(土日・祝日を除く午前9時～午後4時)へ。
- ◇ 会員募集
- 募集会員 依頼会員(子育ての援助を受けた方)／市内在住の方

は在勤のおおむね生後3か月以上12歳までの子の保護者。提供会員(子育ての援助ができる方)／市内在住で子どもを自宅で預かれる方、乳幼児や児童の保育に熱意のある方。両方会員／依頼・提供会員両方に該当する方。

● 料金

・月々金曜日(祝日・年末年始を除く)午前7時～午後7時／1時間600円

・これ以外の時間／1時間700円
・入会金、年会費とも無料

● 申し込み 入会者(保護者)の顔写真(2×3cm)2枚、印鑑を持参のうえ、各地域のファミリーサポートセンター事務局へ。

● 問

上田市ファミリー・サポート・センター本部
TEL 21・3016
丸子支部
TEL 43・2566
真田支部
TEL 72・2998
武石支部
TEL 85・2466

日本語ボランティア入門講座

外国人住民への日本語学習支援を行うボランティアの入門講座です。外国人の方と同じ地域の住民と考へ、交流しながら学習支援を行う「参加型学習」の手法を中心に学びます。

● 期間 6月6日(土)～11月14日(土)

● 時間 午後1時30分～3時30分

(⑨のみ、午前10時～正午)

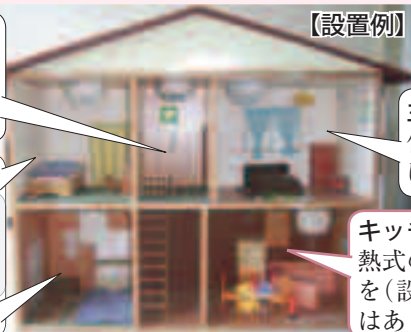
● 内容

お知らせ

5月31日までに 住宅用火災警報器の設置を

大切な家族の生命を守るために、早期に設置を!

【設置例】
階段 2階に寝室がある場合には、煙式の感知器を
子ども部屋 寝室に使用する場合には、煙式の感知器を
お年寄りの部屋



主寝室 就寝に使われる部屋には煙式の感知器

キッチン・リビング 熱式の感知器の設置を(設置義務箇所ではありません)

お問い合わせは上田地域広域連合消防本部、または最寄りの消防署までお願いします。

● 上田地域広域連合消防本部
TEL26・0119

- ① 6月6日(土)／概論
- ② 6月13日(土)／文法と手法Ⅰ
- ③ 6月20日(土)／参加型学習
- ④ 6月28日(日)／公開講座
- ⑤ 7月4日(土)／文法と手法Ⅱ
- ⑥ 7月11日(土)／文法と手法Ⅲ
- ⑦ 7月25日(土)／文法と手法Ⅳ
- ⑧ 8月1日(土)／実践に向けて

<広告欄>

小柳産業(株)

部屋ごと家ごと倉庫ごと 引っ越し・転勤

まるごと片付け

◎格安料金にて処理いたします

上田市材木町：22-5353
上田市東内：43-0053

ごみのことなら
すぐ相談

歴史探訪

フランス文学者・詩人

しぶさわ たかすけ
洪沢 孝輔 (1930～1998)

日本に詩人がどれほどいるのかは、はっきりしませんが、それほど多くはないでしょう。また、詩集のほとんどが自費出版であることから、愛読者は限定されてしまっていると思われる。

このような現代詩壇の世界で多くの詩集を世に出し、死後も『全詩集』が編まれる洪沢孝輔は上田市の出身ですが、どのような経歴の持ち主だったのでしょうか。

洪沢孝輔は、小県郡長村横尾(現真田町長)の養蚕農家の四男として生まれました。昭和18年に上田中学校(現上田高等学校)に入学。卒業後、昭和23年に東京外事専門学校(現東京外国語大学)フランス語科に入学します。昭和28年卒業後、東京大学大学院(人文科学研究科仏文専攻)に入学し、昭和31年に修了します。大学院での修士論文の主題

となった「アンチュール・ランボー」を中心とする研究者として、長い間大学でフランス文学を講じました。また、常に日本の現代詩をリードしてきた洪沢は、詩集『月に吠える』など有名な口語自由詩の萩原朔太郎にも強く傾倒していききました。

※1 アンチュール・ランボー (19世紀フランス印象派の代表的詩人)
 ※2 ボードレール (フランス近代詩の父)と呼ばれている、19世紀フランスの批評家・詩人

問 市文化振興課 TEL 23・6361

なお、ご遺族のご厚志により、多くの蔵書を故郷上田市真田町に寄贈いただき、洪沢文庫として真田公民館図書室に保管されています。主に、詩集を中心とした貴重なコレクションです。

その後、明治大学の教授となり、ランボーやボードレールなどフランス詩を研究する一方、自らたくさん詩を発表していきます。同人誌「未成年」などに詩を発表し、頭角を現しました。昭和55年に詩集『廻廊』により第10回高見順賞を、評論集『蒲原 有明論』により、第12回亀井勝一郎賞を、平成4年には『啼鳥四季』により第43回読売文学賞、第42回芸術選奨文部大臣賞を受賞しました。また、平成9年「行き方知れず抄」で現代詩のグラプリともいえる第5回萩原朔太郎賞を受賞しましたが、この賞の受賞者展覧会を見ることなく、平成10年に下咽頭癌により67歳でこの世を去りました。

明日をひらいた上田の人々

- 11月14日(土)／活動の振り返り
- 場所 中央公民館ほか
- 定員 先着40名(終了後、ボランティア活動ができる方)
- 参加費 無料
- 申し込み 5月29日(金)までに電話または上田市ホームページで。
- 市市民課 TEL 22・4100 (内線1356)

花づくり園芸教室

自宅のベランダ、庭先などできれいな花を育ててみませんか。

日時 5月19日～11月24日の火曜日、午前9時30分～11時30分(全10回)

● 場所 上田市農業バイオセンター
 ● 定員 先着30名

- 受講料 1000円(原材料費などは別途自己負担)
- 申し込み 5月7日(木)～15日(金)に電話で農政課へ。
- 市農政課 TEL 23・5122

<広告欄>

積水ハウスの
全130区画の分譲地

上田跡(専売公社)分譲予約受付中

『コモンステージ 天神の杜』

坪単価/14万円～

●物件所在地: 上田市天神3丁目 ●造成完了時期: 平成21年9月
 ●総区画数/130区画、今回販売区画38区画
 ●土地区画整理事業地内 ●交通: 上田駅より徒歩10分
 ●用途地域: 第1種住居地域 ●地目: 保留地
 ●建ぺい率・容積率: 60%・200%
 ●区画面積: 192.7㎡～413.4㎡ ●道路幅員: 6m
 ●販売価格: 903.5万円～2,427.9万円 最多価格帯: 900万円台
 ●取引態様: 売主

国土交通大臣免許(13) 第540号 国土交通大臣許可(特-17) 第5295号

積水ハウス株式会社

SEKISUI HOUSE

お問い合わせ: **0120-243-221**

〒386-0002 上田市住吉85-8 コモンステージ天神の杜販売事務所(西洋旅館様隣)

リラックスセミナー

●期日／内容(講師)

・1回目 6月3日(水)／①講演「心のサインに気付こう」ストレスからくる心の病氣(仮)「(精神科医師)」、②上田市におけるこのころの相談について紹介(市保健師)

・2回目 6月10日(水)／「ハーブを使ってリラクスタイム」(山崎弘子氏・健康いきがいづくりアドバイザー)

・3回目 6月18日(木)／「癒し、ほぐし・こころも身体もリラククス」ストレッチ&セルフケア(足裏マッサージ)「(鷺巣国彦氏・リフレクソロジスト)

●時間 午後2時～4時(1時30分受付開始)

●場所 豊殿農村環境改善センター
●定員 上田市民30名(応募者多数の場合は抽選)

●参加費 無料

●申し込み 5月8日(金)～22日(金)までに電話で健康推進課へ。

●健康推進課 TEL 23・8244

「多文化にタッチ」講座 タイの食文化を知ろう

タイ料理を作り、交流しましょう。

●日時 5月24日(日)午前10時～午後2時

●場所 中央公民館料理実習室

●講師 武内アヤ氏(タイ出身者)

●定員 先着30名

●受講料 600円(材料費込み)

●持ち物 エプロン、三角布

●申し込み 電話で中央公民館へ。

●中央公民館 TEL 22・0760

シニアときめき会 健康・フラダンス教室

フラダンスで明るく、楽しく、生き生きとした生活を送りましょう。

●日時 5月26日、6月16日・30日、7月14日・21日の火曜日、午前9時30分～11時30分

●場所 中央公民館展示室

●講師 加納まみ氏(フラダンス指導者)

●定員 15名

●受講料 1回500円

●申し込み 各開講日の前日までに電話で中央公民館へ。

●中央公民館 TEL 22・0760

プランター 野菜づくり教室

自宅のベランダなどを使って野菜のプランター栽培を行ってみませんか。基礎的なことを中心に、土作りから収穫までの作業を行います。

●日時 5月21日～11月19日の木曜日、午前9時30分～11時30分(全10回)

●場所 上田市農業バイオセンター

●定員 先着30名

●受講料 1000円(原材料費などは別途自己負担)

●申し込み 5月7日(水)～15日(金)に電話で農政課へ。

●農政課 TEL 23・5122

温泉で手作りを楽しむ会

●日時(内容) 5月15日・22日(犬の小物入れ)、5月29日、6月5日・12日・19日・26日(エプロンドレス)。毎週金曜日の午後1時30分～3時30分。7月以降の予定は随時お知らせします。

●場所 別所温泉あいそめの湯

●対象 市内在住の方

●持ち物 布切りバサミ、30cmものさし、新聞紙2・3枚

●参加費 材料費実費(入浴する方は入館料500円別途)

●申し込み 5月7日(木)以降に受け付け(申し込み多数の場合は先着順とします)、ご承知ください。

●あいそめの湯 TEL 38・2100

●電話受付／午前8時30分～午後5時15分

第38回市民公開講座

●日時 5月16日(土)午後3時～4時

●場所 長野病院3階講堂

神経内科

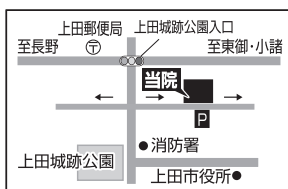
※初診の方はなるべく予約をおすすめします。

頭痛・めまい・しびれ・ふるえ・歩行障害・認知症などを来す脳神経系の病気を診断し、内科的に治療する科です。

主要設備

オープン型MRI、超音波検査装置(腹部一般、頸動脈エコー)、胃・大腸内視鏡、レントゲン、筋電図検査装置等

診療時間 午前 9:00～12:00
午後 3:00～6:00
休診日 土曜午後・日曜・祝日



医療法人三折堂

宮下 医院

神経内科・内科・胃腸内科

〒386-0023 長野県上田市中央西1-15-12

TEL 0268(22)4328 FAX (26)8231

- 理事長/宮下美生 消化器病専門医(日本消化器病学会認定)
- 院長/宮下暢夫 神経内科専門医(日本神経学会認定)

<広告欄>

講座・教室

子育てサポーター養成講座

子育てサポーターは、乳幼児の親子が集う広場などで、子育てを一緒に考えたり、支援をするボランティア活動を行います。性別は問いません。養成講座を通して一緒に子育て支援の輪を広げていきませんか。受講料は無料です。

期 日	内 容	講 師
① 6月2日(火)	子どもと家庭を育む地域子育て支援	金山美和子氏 (長野県短期大学講師)
② 6月11日(木)	いまだきのお産・子育てについて	村松純子氏 (すまいる助産院助産師)
③ 6月16日(火)	親子に寄り添う支援のあり方	金山美和子氏
④ 6月25日(木)	子育てサポーター活動を通して	若山淳子氏 (子育てサポーター)
⑤ 6月30日(火) 7月1日(水) 7月2日(木) (いずれか一回)	実践とグループワーク「親子と関わっていくために」	神科第二保育園 子育て支援センター 保育士

- 時間 午前10時～11時30分
- 場所 ①～④市民プラザ・ゆう ⑤神科第二保育園子育て支援センター
- 託児 ①～④あり(要予約) ⑤なし
- ※⑤は、実践もありますので、動きやすい服装でお願いします。
- 申し込み 5月27日(水)までに電話で子育て・子育て支援課へ。

問 市子育て・子育て支援課 TEL23・5106



女性・シニアゴルフ(夏期)教室

- 講演 「長野病院の形成外科ではどんな疾患を診ているの?」
- 参加料 無料(参加者は駐車料無料、予約不要)。
- 問 長野病院 TEL22・1890
- 日時 6月10日からの毎週水曜日、午前10時～正午(全9回)
- 場所 グリーンヒル神畑
- 募集対象 市内在住・在勤の女性及び60歳以上の男性
- 定員 先着30名
- 参加費 3600円(教室初日に徴収)

赤十字救急法講習会

- 徴収 申し込み 5月7日(木)～29日(金)に体育課、または城跡公園体育館、自然運動公園体育館、丸子総合体育館、真田・武石地域教育事務所体育担当へ。
- 問 市体育課 TEL23・6372
- 日時 ①救急法基礎講習/5月10日(日)午前9時～午後2時、②救急救急員養成講習/5月16日(土)17日(日)午前9時～午後5時30分
- 場所 ふれあい福祉センター

- 内容 心肺蘇生法、AEDの使い方、けが・骨折の手法など。①と②を別々に受講することも可。ただし、②のみ受講の際は救急法基礎講習修了者認定証が必要。
- 対象 満15歳以上の方
- 定員 先着30名
- 参加費 各1500円
- 持ち物 実技ができる服装、筆記用具
- 申し込み 5月7日(木)までに電話で福祉課へ。
- 問 市福祉課 TEL23・5130

<広告欄>

上田市民の5.9人(件)に1人が加入しています!

「総合保障2型」なら

月掛金 **2,000円** で 幅広いリスクに備えられます。

- 1 手厚い入院保障
- 2 死亡保障も充実
- 3 割安な掛金

入院 交通事故 不慮の事故 5,000円*
(1日当たり)

入院 病 気 4,500円*
(1日当たり)

死亡 交通事故 1,000万円

*5日以上入院が保障の対象です。●18歳～60歳の保障額を抜粋しています。

[ここでは共済制度の概要を記載しています。制度や保障内容等、くわしくは県民共済までお問い合わせください]

長野県民共済 [上田] ☎0268-24-3985(代) 資料請求はホームページからどうぞ。
〒386-1104 上田市福田下田9-33 FAX 0268-24-3902 長野県民共済 検索
www.nagano-kyosai.or.jp/

SBCラジオ 県民共済援助YES! 県民共済 聞いてあるほど! 毎週日曜日18:05～(約5分間)放送

口座振替取扱金融機関 八十二銀行 ゆうちょ銀行

※掛金の口座振替については各金融機関から「お支払い方法」を指定ください。※お申し込みの窓口ではお申し込みいただけません。

携帯から▶ http://kyo-sai.jp/nagano/ 携帯サイトのバーコード

有料広告掲載のお問い合わせは、上田市秘書課(TEL23・5149)または株式会社日広(TEL24・1211)へ。

ビジネスコース 仕事の基本セミナー

●期日(テーマ) 5月22日(金)「時代のリーダーシップ力を付ける」
6月19日(金)「仕事の基本は利益意識を持つこと」

●時間 午後6時30分～8時

●場所 上田情報ライブラリー
セミナールーム

●講師 末広繁和氏(中小企業診断士)

●参加費 1回500円(資料代)

●申し込み 電話で上田情報ライブラリーへ。

●上田情報ライブラリー

TEL 29・0210

アクアプラザ上田の 各種教室

●実施教室名(日時)

・プール教室 クロール①(金曜日 午後1時～1時50分)、クロール②(金曜日午後2時～2時50分)、平泳ぎ(火曜日午後1時～1時50分)、背泳ぎ(火曜日午後2時～2時50分)、バタフライ(木曜日午後1時～1時30分)、マスターズ(月曜日午後3時～3時50分、水曜日午後7時～7時50分)、高齢者水中運動(月・水曜日午前11時～11時50分)、水中ウォーキング(水曜日午後1時～1時30分)、水中運動(月・水曜日午後2時～2時50分)

分)、バラエティアクア(金曜日午前11時～11時50分)、アクアビクス(月曜日午後7時～7時50分)

・フロア教室 ストレッチ(月曜日 午後7時～7時30分、火曜日午前11時～11時30分、金曜日午前10時20分～10時50分、午後1時30分～2時)、バラエティエクササイズ(月曜日午前11時～11時45分)、青竹ロービクス(水曜日午後1時～1時30分)

●料金 レッスン料/1回300円、保険料/年500円、入館料750円(60歳以上方と夜間は500円)、フロア教室参加者は、別途入浴料300円が必要。

●アクアプラザ上田

TEL 26・2626

上小手話サークル 平成21年度春の入門講座

●日時 5月15日～6月26日の毎週

金曜日、午後7時～9時(全6回)

●場所 ふれあい福祉センター

●対象 初めて手話を学ぶ方

●定員 20名(定員を超えた場合は抽選)

●受講料 400円(テキスト代含む)

●申し込み 電話で上田市社会福祉協議会へ。

●上田市社会福祉協議会ボランティアセンター

TEL 25・2629

庭木・庭園管理講習

●講習期間 6月17日(水)～7月2日(木)のうち10日間

●対象 開講日現在57歳以上68歳以下で雇用・就業を希望する方

●定員 30名(応募者多数の場合は抽選)

●受講料 無料

●申し込み 5月18日(月)～29日(金)に、直接ハローワーク上田窓口、または上田地域シルバー人材センターへ。

●その他 講習最終日には合同面接・就職相談会を開催します。

●上田地域シルバー人材センター

TEL 23・6002

募集

UEDA JOINT ワークショップ企画募集

毎年8月に、上田城跡公園で開催される、野外フリーフェスティバル「UEDA JOINT」では、音楽のライブだけでなく、様々なワークショップを取り入れてきました。

西アフリカのジャンベ(太鼓やダンス、プロスケーターの指導によるスケートボード体験。また、オーストラリアの原住民・アボリジニの世界最古の木管楽器ともいわれるディジュリドゥを竹から制作し演奏を体験する企画も。そのほかにもヘアエクステンション、ネイルアート、ヨガなどを展開してきました。

今年、7月31日(金)～8月2日(日)に開催されるUEDA JOINTでは「非日常体験できる3日間」をテーマにワークショップを募集します。

企画のある方はぜひご連絡ください。

詳しくは、UEDA JOINTホームページをご覧ください。

●UEDA JOINT実行委員会

TEL 25・6333



河川愛護モニター募集

千曲川・犀川に関する意見や自身の河川愛護に関する活動報告や地域イベントなどを最低月1回報告していただくモニターを募集します。

●資格 20歳以上の方(若干名)

●任期 7月1日～平成22年6月30日

●報酬 月額4580円

●応募締切 5月22日(金)

●応募方法 官製はがきに住所、氏

自然に包まれて育つ子どもたち

東内保育園は、松本へ抜ける国道254号線沿いにあります。丸子郷土博物館の三角屋根を見上げながら園庭に入ると、大きなかえでが木陰を作り、原っぱが広がっています。春は小鳥がひなを育てる、小さな生物が息づく園庭には、神秘さや不思議さが潜んでいて、子どもたちにとって最高の遊び場となっています。友だちと一緒に虫を追ったり、四つ葉のクローバー探しをしたり、いろいろな発見や感動をしながら、好きな遊びを心ゆくまで楽しんでいます。

めぐる季節の中で自然の恵みを受けながら生活を楽しもうと、春はたんぼぼ染めをし、つくしのお浸しやよもぎ団子、ホットケーキ作りをしました。畑作りも盛んで、水やりも草取りも一生懸命に取り組み、苗に名前をつけて可愛がりました。夏にはとれたスイカでスイカ割りをし、ゴー



園庭で遊ぶ子どもたち

ヤのお浸しを食べ、ナスやピーマン、トマトなどでバーベキューをして様々な野菜を味わいました。親子でカレー作りもし、料理好きの親子も誕生しました。

秋には焼きいも会や、収穫を祝ってハロウィン祭りをしました。畑から大力ボチャを運ぶのも、ジャックランタン(カボチャのろうそく立て)を作るのも、パーティーの仮装も、子どもたちが考えて話し合い、工夫し協力して楽しみました。冬はとっておいたトウモロコシでポップコーンを作り、未就園児と一緒にお店屋さんごっこをしてお母さんにもプレゼントしました。

園児一人ひとりのかけがえのない子ども時代が、親子にとって豊かで輝かしいものであることを願って保育をしています。

お料理大好き！ 食べるの大好き！



酒類販売管理協力員を募集します

酒類小売販売場(スーパー、コンビニエンスストア、小売酒販店など)で買い物などをする機会を利用して、未成年者飲酒防止に関する表示

名、年齢、電話番号、「河川愛護モニター応募用紙希望」と明記のうえ、郵送。応募用紙などお送りします。

☎ 国土交通省千曲川河川事務所 占用調整課(〒380-0903 長野市鶴賀字峰村74)
TEL 026・227・7768

☎ 長野税務署酒類指導官
TEL 026・234・4383

おわびと訂正

4月16日号9ページ「信州上田偉人伝」講座の記事中、講座テーマの人物名に誤りがありました。

正しくは小河^{おがわ}滋次郎^{しじろう}さんです。訂正おわびします。

あたたかい心

ご寄付いただいた皆様、ありがとうございます(3月分)。

◇川西商工振興会青年部様 ままごと用品(シンク・クッカー・ブロック) / 小泉保育園へ

◇朝倉万幸様 軽自動車(ホンダバモス 新車1台) / 市役所庁用車として

◇「原田泰治の世界展in上田」実行委員会様 ピエゾグラフ3点(「武石の秋」40号、「魚とり」6号、「秋の夕暮れ」6号) / 文化・芸術の振興のため

◇「原田泰治の世界展in上田」実行委員会様 現金9,959円 / ふるさと寄附金(Eコース)として

◇羽生田郁雄様 桜(園里黄桜^{ソノサトキザクラ})3本 / 上田城跡公園へ



4月11日、新生上田市発足3周年記念事業として、「上田城 城灯りの景」が開催されました。このイベントは大阪城で毎年開催されているもので、大阪城との友好城郭提携を縁に、今回上田城でも開催させていただきました。

「人と人との心を結ぶ」をテーマに市民ボランティアの協力も得て、夢や願いなどが書かれた8,000個の行灯に火が灯され、上田城の春の一夜を照らしました。

大手町通りに並べられた行灯は1,600個。子どもたちは一つひとつのぞき込みながら、自分の書いたメッセージが張ってある行灯を探し、見つけては歓声を上げていました。

主会場となった上田城跡公園野球場では夜7時から点灯式が開催され、森良則実行委員長、母袋市長があいさつに立ちました。その後、美しい灯りを背にバイオリンとピアノによるインストゥルメンタルユニット「TSUKEMEN(ツケメン)」によるミニライブが行われました。

咲き誇る千本桜に見守られ、揺らめく光と澄んだ音色により創り出された幻想的な世界に、5,000人を超える観客が魅了されました。大阪城では8月21日・22日に行灯2万個を使用して開催される予定です。

上田城 城灯りの景

8000個の行灯による光の世界



信濃グランセローズトレーナーを迎え

スポーツ指導者講習会



3月27日、真田文化会館で「信濃グランセローズ」トレーナーの関賢一さんを講師に迎え、さなだスポーツクラブ指導者講習会が開催されました。この講習会は、クラブに登録した指導者の資質向上を目的として毎年開催されているものです。

「7歳から12歳までは最も動作の習得ができる年齢。この時期、発達段階に合わない運動をすると逆効果となり、スポーツ障害を起こしやすい」と、自分の指導体験や実際のトレーニング方法などを紹介しながら、少年期の適切な運動指導の重要性を講義しました。

さなだスポーツクラブは、上田市教育委員会から真田地域の少年スポーツ教室の運営を受託しており、この日受講した約100人の指導者の皆さんは、4月11日から始まった今年度の教室で子どもたちへの指導を行いながら、地域のスポーツ振興と選手育成のために活躍していきます。

地域課題を自分たちで解決

住民自らが実施する、まちづくり活動を市が補助金で支援する「上田市わがまち魅力アップ応援事業」の平成20年度丸子地域実績報告会が3月17日、丸子文化会館小ホールで開催されました。採択された自治会5団体、まちづくり団体11団体の計16団体が、活動内容をはじめ地域の課題で改善したことや苦労したこと、今後の活動の抱負などを発表しました。

どの団体の活動も地域づくりへの熱意があふれ個性豊かであり、健康づくりや憩いの場づくり、子育てなどに役立ててほしいと花木の植栽や遊歩道の整備をしたり、お産や育児、少子化問題についてのイベントや勉強会を行うなど、地域を大切にしていこうとする仲間の連帯感を強く感じることができました。

発表後のディスカッションでは、活動への質問や意見などが出され、今後自立して活動が続けていく方法や、世代を越えて多くの人たちに活動に参加してもらうことなどの課題をみんなで話し合いました。審査協議に関わった丸子地域協議会からは「自然豊かな丸子地域で連帯感の強さを生かして今後の活動に取り組んでほしい」と各団体の活動に感謝の言葉がありました。



「震度7の地震発生!」。これは、地震体験車の体験試乗の様子です。

昨年2月に長野県が更新した地震体験車が、この2～3月にかけて市内の消防署や保育園、ショッピングセンターなど数十か所を巡回。3月27日に武石地域自治センターにやってきました。武石保育園の園児約60人と自治センター職員などが体験試乗しました。

地震体験車は園児たちにとっては、まるで遊園地のアトラクション。体験した震度が小さかったこともあり、「楽しい!」「もっと乗りたい!」という声も。しかし、先生がスマトラ沖地震クラスの震度の体験をしている姿を見ると、園児たちから笑顔は減り、中には怖がって泣き出す子もいました。依田窪南部消防署員から「地震が起きたら、すぐに机の下にもぐってください」と言われた園児たちは、「はいっ!」と大きな声で答えていました。

この地震体験車は、実際に発生した新潟県中越沖地震や阪神淡路大震災などと同規模の地震の揺れを体感できます。

地震の怖さを体感

県の地震体験車が市内を巡回

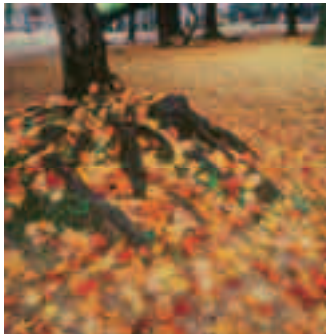


20 年度年間コンテストの部の入賞者を発表します！

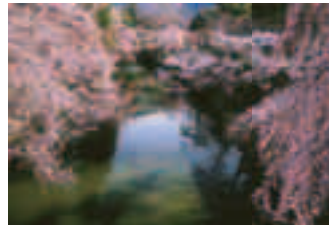
受賞作品は、上田市ホームページでも掲載しています。

☎ 商工課 TEL23・5395、観光課 TEL23・5408

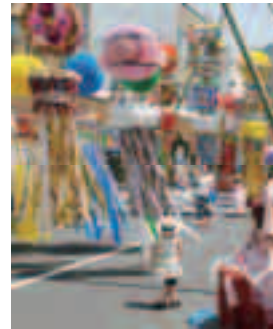
入選



「秋彩色」 目黒鉄也



「穏やかな朝」 長浜貞子



「お母さんこっち」 北島市朗



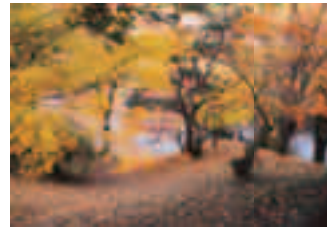
「秋の彩り」 岩下 直



「夕晴れの彩り」 百瀬邦昭



「躍動」 西川善昭



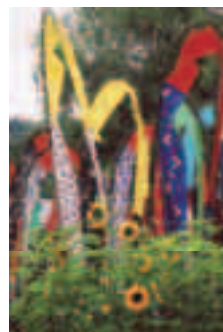
「上田公園の秋」 小福田友明



「暖冬の朝」 小川 稔



「暖冬の朝」 柳澤 英



「岳の幟」 西沢昭夫



「夕日に輝く」 酒井史夫



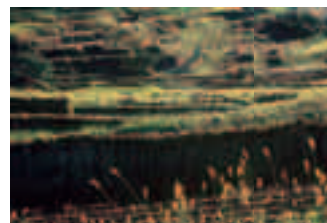
「夜景彩る」 小野陽雄



「ふれあい」 山地 茂



「秋冷えの朝」 西澤ミエ子



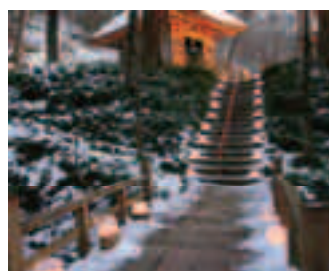
「収穫の頃」 鳥川由美子



「蛸さん」 金澤 浩



「桜五色」 横内和多良



「文殊堂アイスクャンドル」
宮沢昭八



「花筏」 中島 巖



「旋律」 北沢昭徳

「うえだの四季」写真コンテスト



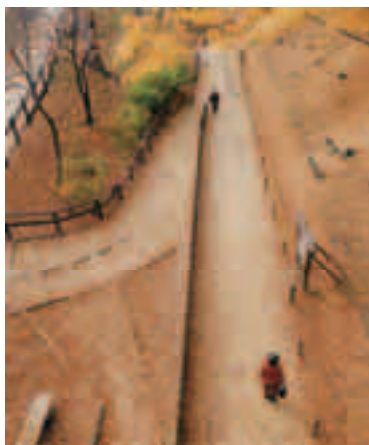
市長賞 「クライマックス」 打江美恵子

平成20年度「うえだの四季」写真コンテストに、多くの作品をご応募いただきありがとうございました。春夏秋冬の部、それぞれの入賞作品を対象に20年度年間コンテストを実施しました。入賞された皆さんの作品を紹介します(敬称略)。



最優秀賞 「桜花に映える古城」 中澤仁一郎

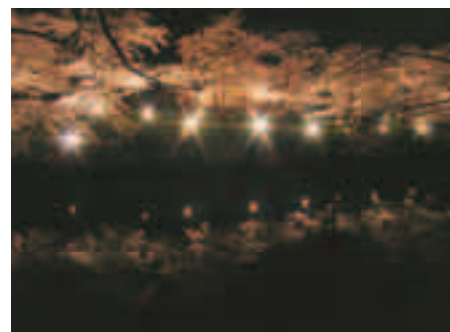
優秀賞



「けやき並木邂逅^{かいこう}」 松井淑廣



「タンクのスクリーン」 小林重明



「千本桜の夜会」 角田米作



「小春日和」 続 敏男



「散歩道」 柳原孝好

市民が集い、文化芸術の薫る

まちづくり拠点の整備に向かつて

交流・文化施設等整備検討委員会から中間報告が出されました

交流・文化施設等
整備検討シリーズ

Vol.3

上田市天神のJ-T開発地（J-T上田工場跡地）の一部に計画している交流・文化施設等の整備に向けて、整備内容の検討をお願いしている「交流・文化施設等整備検討委員会」から、このほど中間報告が出されました。委員会では、これまで8か月間にわたり、検討委員会を10回、部会を含む専門委員会を8回開催し、また、市民3000人を対象としたアンケート

トや市内文化施設の利用者懇談会で、市民全体の意向をお聞きするなかでまとめられたものです。そこでシリーズ3回目となる今回は、この中間報告の概要を市民の皆さんにご報告するとともに、皆さんから直接ご意見やご提言をお聞きするため、市民公聴会やパブリックコメントの実施についてお知らせします。

I 理念と目標

1 基本理念と目標

基本理念「人にやさしい 交流の輪が広がる 創造都市うえだ」の実現を交流・文化施設の基本理念と位置づけ、文化芸術のシンボル拠点と

して新たな「育成」「鑑賞」「創作」「交流」などの活動が行われ、人が、まちが、豊かに育まれる新上田市を目指すことが重要と考えます。
「人にやさしい」とは、多様な価値観を認め合い、分かち合うことで心の豊かさ・やさしさを育てる、まさに教育面や福祉面にも広がる理念として表現しています。
また、基本理念の根底にあるべきものは「育成」です。人々の生活とともに悠久の時を経て脈々と流れる「文化」、それが表現された「芸術」、これらが育つことはすなわち「人」が

育つということでもあります。とくに次世代を担う子どもたちを、良質な文化的生活環境の中で心身ともに健やかに育てていく、これは今の私たちが真剣に取り組まなければならないことであると考えます。
そして、「人」が育つということは「まち」が育つことへとつながります。
こうした「育成」の取り組みが、市民による歴史ある地域文化を継承することと同時に、新たな文化を創造し、醸成された地域文化を形成するとともに、まちのにぎわいや活力を



J-T開発地：J-T日本たばこ産業(株)上田工場跡地は、周辺の民有地も含め、現在土地区画整理事業による、新たな利活用に向けての基盤整備が進められています。

JT開発地における交流・文化施設のありかた中間報告(概要)



日端委員長、龍野副委員長から市長への中間報告

2 文化創造と都市創造

交流・文化施設が果たす役割として、文化創造と都市創造の側面から下記の4項目が挙げられます。

生み出す拠点として、広範な地域から人々が集い・憩い・交流する場となり、魅力あふれるまちづくりへの架け橋となるものと考えています。

基本理念「人にやさしい 交流の輪が広がる 創造都市うえだ」

施設が
果たす
役割

育成

～文化の薫り高く、魅力と風格あるまちづくりに向けた 人づくり～

鑑賞

～芸術とのふれあいから感動が生まれ 豊かな心が育れます～

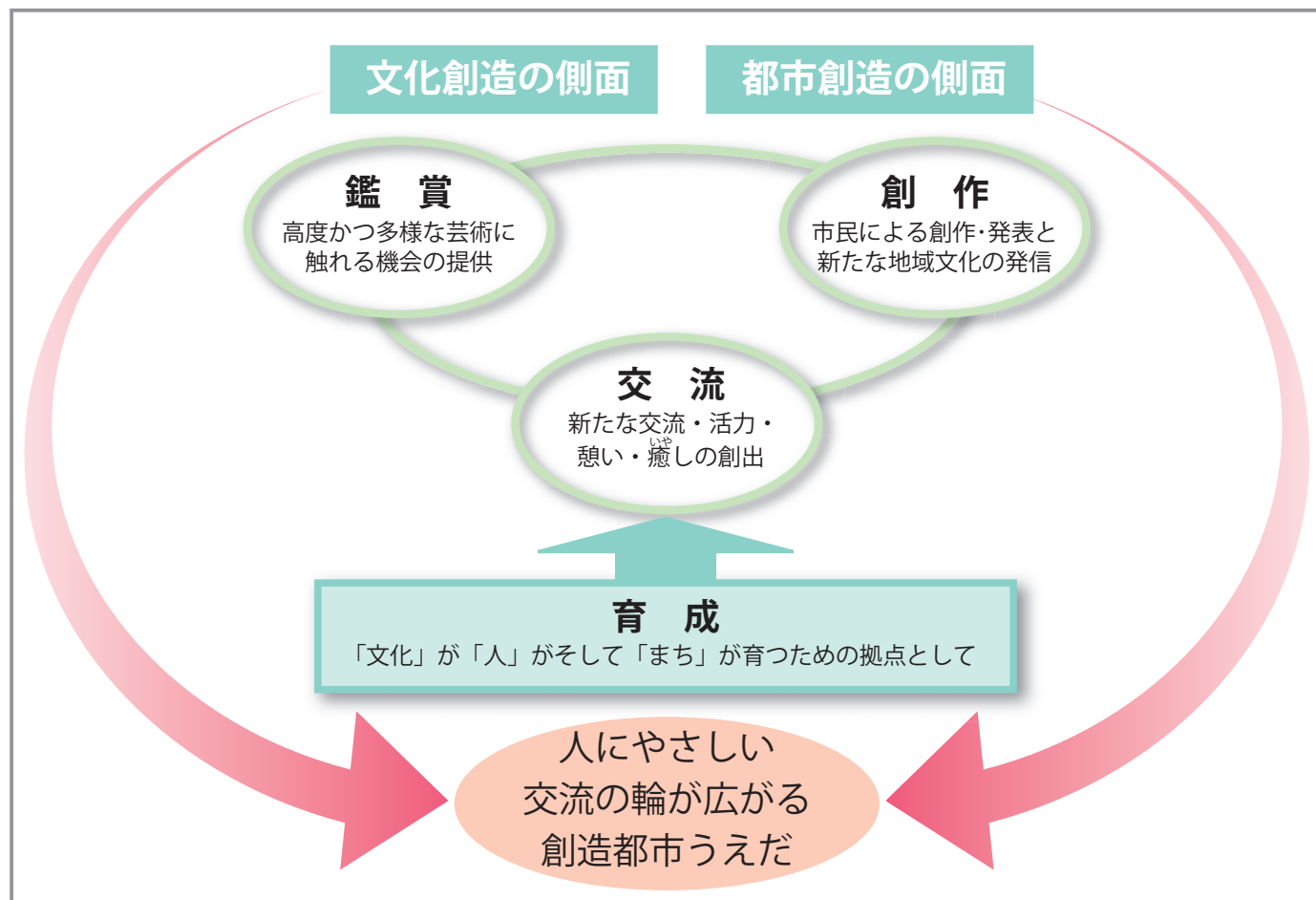
創作

～誰もが・等しく・自由に 感動や喜びを広げる創作体験～

交流

～様々な交流により 新たな出会いと創造が始まります～

そしてこれらの関係をイメージとして表すと、下図のようになります。



具体的な施設機能のイメージ・整備の方向性

Ⅱ 交流・文化施設の整備方針

施設整備の方向性

整備の方向性として次の5項目を提案します。

- ①「歴史や伝統に学ぶ文化の薫るまち」実現に向けての中核となる施設
- ②市民誰もが等しく気軽に利用でき、親しみ、憩える施設
- ③新たな交流やにぎわいを創出し、地域の活性化につながる施設
- ④環境、景観、安全などに配慮した、人にも地球にも優しい施設
- ⑤新上田市、東信濃地域に広がる文化圏のシンボルとなる施設

多目的ホール

大ホール、小ホール

●大ホール

・位置づけ 市民の鑑賞の機会の拡充を図り、質の高い文化を享受・発信できる、東信濃地域全体の文化芸術活動の中心拠点としての施設とします。

・規模・機能 座席数は1500席から1700席程度とし、様々な利用要望に応える多目的ホールとします。舞台は現上田市民会館と同様の「プロセニウム形式」(注1)とします。

・その他 席数可変装置(注2)の導入については、費用対効果などを含め今後さらに検討が必要と考えます。

ホワイエなどは千曲川の景観・眺望に配慮した設計とすることが望ましいと考えます。

●小ホール

・位置づけ 市民の様々な文化芸術活動を表現・発表する場として、気軽に利用できるように規模や機能に配慮した施設とします。

・規模・機能 客席数は、200から300席程度の小規模なホールとします。形状は平土間の箱型形状とし、多様な利用が可能なマルチスペースとします。

注1 舞台と客席がプロセニウム(額縁)によって明確に区分されている形式
注2 客席の一部を壁などで仕切り、催物の規模に応じた客席の使い分けを可能とする装置

美術館

「展示室」「市民ギャラリー」「アトリエ」「収蔵庫」

・展示室 上田ゆかりの芸術家を顕彰する常設展示と、様々な内容を持った企画展示を想定しています。なお展示室全体を一体利用できるように配置など考慮します。

・市民ギャラリー 市民誰もが気軽ににじろろの活動の成果を発表できる場とします。

・アトリエ 市民誰もが文化芸術と触れ合い、地域の文化力の向上につながる様々なワークショップの場とします。

・収蔵庫 貴重な芸術作品を良質な状態で後世へと引き継ぎ、市民財産を保全していくために整備が必要です。

交流施設

「交流・会議室」「リハーサル室」「練習室」「ボランティアルーム」「エントランス」など

・交流・会議室 広く市民が自由に



利用できる多目的なスペースとします。

- ・リハーサル室・練習室 ホールの付帯施設としても必要ですが、市民の主體的な文化芸術活動を支える拠点としても活用します。
- ・ボランティアルーム 市民とともに歩み・育てる施設の拠点として整備が必要です。
- ・エントランス 明るく開放的な空間とし、人々の憩い、安らぎの場所であるとともに、市民緑地・広場などとも連携した交流とにぎわいの空間として整備します。
- ・託児サポート施設 子育て中の保護者が安心して鑑賞できるよう、キッズルームを設置します。
- ・喫茶・売店など 交流・文化施設の一端を担う機能としての一面も持つため、設置についてさらに検討する必要があります。

市民緑地・広場

「芝生広場」「交流広場」「桜並木」など

- ・芝生広場 人々の癒しにつながる、8000㎡程度の広さを持つ開放的な空間とします。
- ・交流広場 人々のにぎわいにつながる空間として整備します。
- ・桜並木 上田城や千曲川との連続性を意識し千曲川堤防沿いに整備します。

- ・その他 親水空間、子ども空間、芸術空間などの整備について今後検討します。

施設全体のイメージ 施設の構成と規模など

施設機能のイメージ全体を、大きな面積で表すと表1のようになります。

また、これら施設の配置を計画する際は、次の点に留意する必要があります。

- ① 共用・集約化により全体面積の圧縮に努め建設費・維持管理費の節減を図る
- ② 各施設は共用エントランスを中心に配置し全体の一体感と利便性に配慮する
- ③ 各施設の運営・管理上の独立性は確保した配置とする



(表1) 施設の構成と規模など

※印は延床面積

建物	敷地面積 約15,000㎡	延床面積 約16,000㎡	
多目的ホール	■大ホール(1,500～1,700席) ■小ホール(200～300席) ■スタッフルーム、楽屋(大・中・小) ■ホワイエ、クローク(手荷物一時預かり所)、ロビー、倉庫など		※ 約8,500㎡
美術館	■展示室(常設展示・企画展示) ■市民ギャラリー、アトリエ ■収蔵庫、管理研究関係室		※ 約2,500㎡
交流施設	■リハーサル室、練習室、交流・会議室 ■ボランティアルーム、エントランス(玄関)		※ 約2,000㎡
管理部門	■託児サポート施設、事務室、救護室など ■廊下、階段、機械室など		※ 約3,000㎡
市民緑地・広場	■芝生広場、交流広場 ■桜並木、親水空間、遊具など		約18,000㎡
駐車場	■普通車約400台、大型車(必要台数)		約12,000㎡
公共利用全体	全体敷地面積 約45,000㎡		



Ⅲ 運営・管理の方向性

交流・文化施設はただ整備して終わりではありません。整備の際に掲げた理念や目標をいかに実現していくのか、つまり整備後の運営・管理のあり方が極めて重要であるといえます。

そこで、中間報告では運営・管理の方向性として、いくつかのポイントが示されています。

1 エリア・マネジメント

交流・文化施設全体を一体のものとして連携させた配置・機能を持たせることにより、最大化、効率化、そして市民への説明責任を果たせる運営・管理をすべきです。

さらには、JT開発地全体での連携、そして中心市街地全体も含めた広い視野に立ち、人の流れ、まちのつながりを総合的に考慮し、上田市全体に活力を広げていく必要があります。

このためには、事業者、行政、市民などが共同して、管理だけではなく街のにぎわいを演出していくような各種事業展開により、積極的に活力を持続させる必要があります。

2 施設の運営・管理

運営のマネジメント能力

施設整備後の運営にあたっては、施設整備段階から市民とともに施設を創り、育てていく新たな仕組みづくりを構築するべきです。そして、早い段階から、舞台芸術に関する高度な専門性を備えた人材を確保するなどの新たな運営体制づくりを検討・準備していく必要があります。

あわせて、民間の活力を導入して、効率性と魅力を高める必要があります。

運営・管理の財源確保・資金調達

財政運営的な面からは、次の点に留意すべきと考えます。

①市民の理解に基づく行政の長期的な事業運営経費、維持補修経費の確保

②企業メセナ（企業が資金を提供して文化、芸術活動を支援すること）の活用

③適切かつ公平な利用料金、減免基準の設定

④効率的かつ効果的な自主事業の実施と市民活動への助成・支援

⑤特徴ある施設づくりと運営手法

運営・管理経費について

運営・管理経費については、市民全体で認識を共有し、適切な金額を見定めながら計画を進めていく必要

がありますが、現時点では具体的数字はつかめません。

当面の目安としては、全国の類似の規模・機能を持つ施設の運営・管理経費の平均値、維持管理費のみで年間1万5000円/㎡程度、人件費を含めると2万2000円/㎡程度を見込むこととします。

また、施設の大規模改修、舞台・音響等設備関係の更新費用も見込んでおく必要があります。

Ⅳ 建設にあたって

1 他施設との役割分担

JT開発地の交流・文化施設を東信濃地域の広域的な拠点施設とした場合、市内にあるホール系施設との役割分担は次のように考えます。

・上田文化会館：千曲川右岸地域の創作・発表の拠点

・丸子文化会館：千曲川左岸地域の創作・発表の拠点

・上田創造館：上田広域の学習・発表の拠点

・信州国際音楽村：音楽系を中心

とした施設

・各公民館などの生涯学習施設：市民の日常文化芸術活動に密着した施設

2 建設スケジュール

現在の見込みでは、今年秋季に基本計画が策定された場合、開館は平成25年度末ごろと想定されます。

3 整備事業費と財源

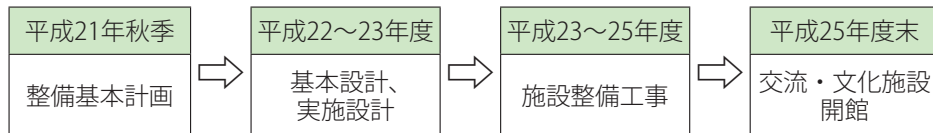
整備事業費につきましては、市民の理解に基づく適切な事業費とすることが重要と考えます。

また、市側においても公費の負担軽減に努め、まちづくり交付金や合併特例債を最大限活用した整備を進めるよう要望します。



今後の予定

市では、今後の予定としておおむね次のとおり考えています。



なお、今回は中間報告に対するご意見をお聞きますが、今後もそれぞれの段階で、市民の皆さんと意見交換をさせていただきながら、市民合意に基づく施設整備を進めていきます。

「交流・文化施設のありかた市民公聴会」を開催します

中間報告の内容を市民の皆さんに直接ご説明し、施設整備に対するご意見、ご要望などをお聞きするため、次のとおり市民公聴会を開催します。大勢の皆さんのご参加をお待ちしています。

	期 日	時 間	場 所
1	5月13日(水)	19:00～	真田公民館大ホール
2	5月20日(水)		武石公民館コミュニティホール
3	5月21日(木)		上田市民会館会議室
4	5月25日(月)		上田創造館文化ホール
5	5月26日(火)		丸子ふれあいステーション会議室
6	5月28日(木)		上田市民会館会議室
7	5月30日(土)	14:00～	上田市民会館会議室
8		19:00～	



中間報告に対して
市民の皆さんから
広くご意見をお聞きます

パブリックコメントを実施します

広く市民の皆さんから意見を募集し、市民の皆さんが望む形での施設整備を進め、市民とともに歩み・育つ施設としていくため、中間報告に対するご意見を募集します。

寄せられた意見は、検討委員会へ報告し、最終報告に向けた検討資料としていただくとともに、市が施設整備基本計画を策定する際の参考にもさせていただきます。

●公表内容

- ・広報うえだ 「JT開発地における交流・文化施設のありかた 中間報告」の概要
- ・上田市ホームページ 「JT開発地における交流・文化施設のありかた 中間報告」全文

●公表方法

上田市ホームページ、または市役所本庁舎、各地域自治センター、各公民館及び丸子文化会館で閲覧できます。また、希望者には全文のコピーをお渡ししますので、各閲覧場所でお申し出ください。

●意見などの募集期間 5月1日(金)～31日(日)

●意見などの提出方法

①電子メール ②FAX ③郵便(〒386-8601 大手1-11-16)

④市役所本庁舎、各地域自治センター、各公民館及び丸子文化会館に設置の受付箱(開館時間内に限ります)。

※件名を「交流・文化施設のありかた中間報告パブリックコメント」とし、住所・氏名・連絡先を明記してください。

なお、電話での受け付けはしませんのでご了承ください。

このほか、皆さんと一緒に良い施設づくりを考えるため、「出前ときめきのまち講座」などで出張し、意見交換させていただきます。少人数のグループでも結構ですので、ぜひお申し込みください。



生物研究コンテスト「クマムシ研究」で 菅平中3年生・湊くんが金賞に

提供／菅平中学校

筑波大学が、理系人材を育てるために開催している未来の科学者養成講座「BS(バイオロジカルサイエンス)リーグ」の、BS3研究成果発表会「つくば生物研究コンテスト」で菅平中学校3年生の湊廣輝(みなと・ひろき)くんが金賞を受賞しました。

4月9日、この日湊くんは、筑波大学菅平高原実験センターの町田准教授らとともに、母袋市長を表敬訪問し、受賞報告をするとともに研究テーマである「上田市のクマムシ相の垂直分布」を説明。市内に生息する体長1mm以下のクマムシ444匹を捕獲・観察し、標高の違いで種類や数が異なることをまとめ上げたもので、市長をはじめ同席した報道記者たちは熱心に聞いていました。



BSリーグは3リーグ制からなり、コンテストでの受賞者はBS2リーグへ昇格し、さらにBS1に昇格した生徒は高校を卒業するまでの期間、継続して指導・支援を受けられます。湊くんは、「今後さらにクマムシの研究を深めたい」と語っていました。

四喜折々
しきおりおり

人の動き

(平成21年4月1日現在)

人口：160,192人 男：78,405人 女：81,787人 世帯数：61,803戸 外国人登録者数：5,117人 男：2,457人 女：2,660人